学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

JOSAI INTERNATIONAL CENTER for the Promotion of Art and Science (JICPAS)

学校法人 城西大学

〒 102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26 **☎** 03-6238-1300

http://www.josai.jp/

Newsletter

Josai University Educational Corporation

3-26 Kioi-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 2 03-6238-1300 http://www.josai.jp/

No.18

(2014.3.31 発行)

ン ガ

ij 1 0)

才 ルバ

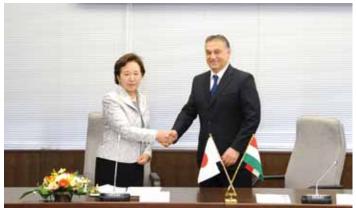
1

ン首相

!が来学

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

日時:2013年11月21日



握手するオルバーン首相(右)と水田理事長

るとともに、本学からの名誉博士記授与およ 特別講演会が行われました が本学東京紀尾井町キャンパスに来学され バーン・ヴィクトル 2013年11月21日、 本学は、 中期目標でグローバル人材の育 (ORBÁN Viktor) 閣 ハンガリー首相のオ

成に向けた国際交流活動強化を掲げて世界

国を代表する九つの大学と協定を結んでいま Business School) との学術交流協定を皮切 2007年のブダペスト商科大学 (Budapest のさまざまな大学と積極的に国際交流を深 (Eötvös Loránd University) をはじめ、



し、会見を行いました。

駐ハンガリー大使ら計37名の訪問団が来学 Istvan)駐日ハンガリー大使および山本忠通 ダヘイ・イシュトヴァーン (SZERDAHELYI 首相府対外外交経済政務次官らに加え、セル

オルバーン首相への名誉博士記授与

現在、エトヴェシュ・ロラーンド大学 特に中欧のハンガリーに関しては、

> 西国際大学両学より150名以上の学生がそ からも100名近くの学生を受け入れていま れらの大学へ留学するとともに、ハンガリー 3千名を超える学生がハンガリー語を学んで す。また、両学では2008年以降、のべ このたびの来学は、これら本学とハンガ そして、 2013年までに城西大学・

閣総理大臣との会談など多忙な行事が予定さ れる中、高等教育機関としては唯一本学に 12月のショーヨム・ラースロー(SÓLYOM の政府要人の本学への来学は、2009年 お越しいただきました。また、ハンガリー は、天皇皇后両陛下との御引見や安倍晋三内 ン首相の公式訪問となって実現したもので 流がハンガリーで高く評価され、オルバー リーおよびハンガリーの大学との深い学術交 László)大統領(当時)に続くものです。 水田宗子理事長や城西大学森本雍憲学長 公式実務訪問賓客としての今回の来日で

さらなる発展のためには若い世代の育成が重 リーの懸け橋となる人材の育成に一層つとめ リーの大学との交流を深め、日本とハンガ 越しいただき、大変光栄です。 てまいります」と挨拶し、オルバーン首相も 急速に変化する世界の中で、 会見では、水田理事長が「首相に本学にお 城西大学との学術交流を通じて、 今後もハンガ ハンガリー

1

オルバーン首相以下、バログ・ゾルターン 城西国際大学柳澤伯夫学長が出迎える中、

(BALOG Zoltán)教育大臣、ヴァルガ・ミ

アルトー・ペーテル (SZIJJÁRTÓ Péter)

ハーイ(VARGA Mihály)経済大臣、シー

す」とお話されました。 国間の絆がさらに強まることを願っていま

その後、

来学を記念して、

オル

バー

以来のメンバーで、常に自由と民主主義の シュ・ロラーンド大学を1987年に卒業さ 学と学術交流協定を締結しているエトヴェ ために活動を続けてこられました。そして、 れました。ハンガリーの青年民主同盟の結成 ものです。首相は、1963年生まれ、本 繁栄に導いてこられたオルバーン首相の長年 ました。今回の授与は、ハンガリーを今日の 常に主導的な役割を担ってこられました。 市民同盟の党首として、あるいは首相として 1990年の社会主義体制終焉後初の選挙以 にわたる活動と功績を称えて授与を決定した 首相への城西大学名誉博士記授与式が行われ 会見に続き、地下ホールにて、 常に国会に議席を保持され、ハンガリー オルバーン



と m ー ロッパ (Hungary and Europe in a マン (Michal KOTTMAN) 大使、チェコ 大使、スロバキア共和国のミハル・コット コザチェフスキ (Cyryl KOZACZEWSKI) 基づいたお話を頂戴しました。会場の地下 ど、四半世紀にわたり、政治の第一線にてハ 史とこれからの展望への考察、そして、これ 代におけるハンガリーの体制、 講演を行っていただきました。講演では、近 Changing World)」というタイトルで特別 首相に「変化する世界の中のハンガリー 共和国のヤン・ユヘルカ(Jan JUCHELKA) ホールでは、ポーランド共和国のツィリル・ ンガリーの変革を指導してこられた実体験に からの世代を担う若者たちへのメッセージな と、それに影響を与えたヨーロッパ全体の歴 経済の変遷

学生たちとの交流

の大勢の学生やハンガリーからの留学生らに ホワイエにてホールに入りきれなかった本学 場に入りきれない本学の学生たちが同時中継 の特別講演に耳を傾けていました。また、会 学・城西国際大学のキャンパスにも中継され により別教室で講演を聞いたほか、城西大 特別講演終了後、オルバーン首相は、地下

などからの留学生ら約150名が熱心に首相 ラード4か国(V4)」の代表をはじめ、日 やハンガリー、ポーランド、チェコ、カナダ 縁の深い招待客の方々や、本学の教員・学生 興機構などから、ハンガリーおよび本学に 本学術振興会の渡邊淳平理事、 副大使、 人国際協力機構、 (Maeve COLLINS) 次席ら、「ヴィシェグ EU代表部のメイヴ・コリンズ 独立行政法人科学技術振

> 留学生活の報告などをしました。 囲まれて、しばし交流の時間を持ちました。 挨拶して来学の御礼を申し上げるとともに、 生が流暢なハンガリー語でオルバーン首相に 交流の場では、ハンガリー語を学ぶ本学の学 ハンガリーからの留学生も日本での充実した

大いに期待されます。 リーの大学との交流がますます深まることが の本学とハンガリーとの親善およびハンガ 今回のオルバーン首相の来学により、

キャンパスに設置する旨の発表もあわせて行 援のために、「中欧研究所」を東京紀尾井町 いました。 流・人材育成の推進、学部・大学院教育支 れまでの中欧地域での本学の教育実績を踏ま なお今回は、ハンガリーをはじめとするこ 同地域とのさらなる共同研究・学術交

中欧研究所を設置

Studies)」を設置します。 とのさらなる共同研究・学術交流・人 欧地域での教育実績を踏まえ、同地域 Josai Institute for Central European を目的に、このたび「中欧研究所(The 材育成の推進、学部・大学院教育支援 学校法人城西大学は、これまでの中

チェコ、ポーランド、スロバキアを加 ターとして本学東京紀尾井町キャンパ えたいわゆるヴィシェグラード4か国 交流を開始したハンガリーをはじめ、 プ全体で、2007年に本学が本格 スに設置し、両大学を含む本学グルー 同研究所は、本学法人内の学術セン ・4)を中心とする地域を第

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス日時:2013年11月21日

所長としてお迎えします。 チェコ、ハンガリー、ポーランド、ス その周辺国を加えた中欧における国際 ロバキアの4か国の大使を研究所名誉 た、研究所の重要性と公的な意義から、 教育・連携の推進機能を担います。 ま

井町キャンパスに来学された際に、 リーのオルバーン首相が本学東京紀尾 文化等に関する学術書が多数寄贈され て、オルバーン首相よりハンガリーの て同研究所の発表もあわせて行われま ルダヘイ大使も同席して地下ホールに した。そして、 なお、2013年11月21日にハンガ 研究所の設置を記念し セ

水田 |理事長へハンガリーから勲章授与 日時:2013年11月21日

場所:駐日ハンガリー大使館

Cross of the Order of Merit of Hungary 2013年11月21日ハンガリー大使館に 本学水田宗子理事長に Commander's



られてのことです。 教育・研究、人材育成への大きな貢献が認め (ORBAN Viktor) 首相より授与されました。 が、ハンガリーのオルバーン・ヴィクトル (civil division) 〈ハンガリー中十字勲章 これは、ハンガリーと日本両国間における

等がいます。 ては、米倉弘昌経団連会長、 とされています。過去の日本人の受勲者とし 事部門と分かれており、Commander's Cross は民間の外国人に与えられるものでは最高位 Merit of Hungary は1991年設定された、 ハンガリー最高の勲章とされ、民間部門と軍 ハンガリーの叙勲制度の中で、Order of 海部俊樹元首相

されています。Pro Cultura Hungarica はラテ 政府より Pro Cultura Hungarica 勲章を授与 ※水田理事長は2011年5月にハンガリー 献をした外国人に対して与えられるものです。 たはハンガリーと国外の文化交流に重要な貢 ン語で「ハンガリー文化のために」を意味し、 ハンガリー国外でハンガリー文化の普及、ま



V4 +日本 安全保障セミナーの様子

V 4 Student Conference)」が開催されました。 月5日「V4+日本 学生会議(V4+Japan 日V4各国大使館、本学共催) (ヴィシェグラード4) +日本 安全保障セミナー および翌2

スロバキアの4か国は、各国間の友好と協力 て「ヴィシェグラード・グループ」を形成し を進めることを目的とした協力の枠組みとし 中欧のチェコ、ハンガリー、ポーランド、

を開催 日本でも「V4+日本」として、V4との対 ラード4か国 (V4)」とも呼ばれています。 話・協力を推進しており、外務省が経済、環 ており、グループの総称として「ヴィシェグ スに関する各種セミナーを行ってきました。 開発協力・エネルギー効率等のトピック

> 界のさまざまな大学と積極的に国際交流を深 の育成に向けた国際交流活動強化を掲げて世 める中、特にV4を中心とする中欧地域との そして本学は、中期目標でグローバル人材

教育交流を強化しています。

催されました。 が、外務省、V4各国、本学の共催により開 4+日本 東方パートナーシップ・セミナー」 そのような中、2013年2月には \overline{V}

国である駐日ハンガリー大使館をはじめとす 定められ、日本国内およびV4各国におい とを目的とした「V4+日本」 交流年として る駐日V4各国大使館、そして、V4諸国と て、さまざまな記念行事が予定されていま 今回、その一つとして外務省と現V4議長 特に今年は、日本とV4の交流を深めるこ

本学にて「V4+日本 安全保障セミナー_ 場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス 日時:2014年2月4日、5日 および「V4+日本 学生会議_

キャンパスにおいて「V4(ヴィシェグラー 2014年2月4日、 本学東京紀尾井町

plus Japan Security Seminar)」(外務省、 ド4)+日本 安全保障セミナー(Visegrad 駐



V4 +日本 学生会議の様子



基調講演を行なうセルダヘイ大使



基調講演を行なう牧野たかお外務大臣政務官



挨拶する水田理事長

約170名が参加しました。

教育を支援していただいている企業の方々ら

を含む本学学生、有識者、本学のグローバル

館の外交団、本学関係者、

V4からの留学生

府をはじめ、V4各国の大使や25か国の大使

セミナーは地下ホールで開催され、

日本政

保障セミナーが開催されました。

年に引き続いて本学にて「V4+日本」安全

の学術交流を進める本学との共催により、

昨

み、世界のパワーバランスは急激に変化し、 が務官が基調講演を行い「グローバル化が進 の発展に寄与できるグローバル人材の育成に の発展に寄与できるグローバル人材の育成に の発展に寄与できるグローバル人材の育成に の発展に寄与できるグローバル人材の育成に の発展に寄与できるグローバル人材の育成に の発展に寄与できるグローバル人材の育成に の発展に寄与できるが の発展に寄与できるが のようなセミナーが開催 とます」と挨拶しました。引き続 の発展に寄与できるが のようなセミナーが開催



セッションの様子

る」と述べました。日本とV4が協力していくことが重要であすることはできないため、価値観を共有する国で問題を解決し、自らの平和と安全を維持国境を越えた脅威が増大する中、どの国も一

基調講演に続いて行われた各セッションに基調講演に続いて行われた各セッションにないては、日本およびV4諸国から参加した保障環境とV4の外交課題、②中欧の安全保障環境とV4の外交課題、②中欧の安全保障環境と日本の外交課題でして、③東アジアと中欧の安全保障環境が相互に連関しているとの共通認識に基づき、海洋安全保障、サイバー、ミサイル防衛などについて意見交換を行いました。

ました。柳澤伯夫学長がクロージングスピーチを行いをしてセミナーの最後に、城西国際大学の

いていました。
て、皆熱心に各セッションの発表や討議を聞て、皆熱心に各セッションの発表や討議を得バルな視野を持つための大変貴重な機会を得参加した学生らは、これまで以上にグロー

なお、本学はV4の17の大学(ハンガリータ大学、ポーランド4大学、チェコ3大学、スロバキア1大学)と学術交流協定を締結して国際交流を展開しており、これらの大学にら現在30名の留学生が城西大学および城西国際大学で学んでいます。また、本学では2008年以降、城西大学・城西国際大学高学でのベ4千名の学生がハンガリー語を学んできましたが、昨年4月からは加えてポーランド語・たが、昨年4月からは加えてポーランド語・ナェコ語の授業もスタートしており、グローチェコ語の授業もスタートしており、グローチェコ語の授業もスタートしており、グローチェコ語の授業もスタートしており、グローチェコ語の授業もスタートしており、グローチェコ語の授業もスタートしており、グローチェコ語の授業もスタートしており、グローチェコ語の授業もスタートしており、グローチェコ語の授業もスタートしており、グローチェコールを対しています。

進、学部・大学院教育支援を目的とする「中らなる共同研究・学術交流・人材育成の推地域での教育実績を踏まえ、同地域とのさまた、本学は昨年11月に、これまでの中欧

タートさせています。 European Studies)」を設置し、活動をス欧研究所(The Josai Institute for Central

V4+日本 学生会議

翌2月5日には、東京紀尾井町キャンパス3号棟5階国際会議場にて本学主催による「V4+日本 学生会議」が開催されました。本会議は、前日の「V4(ヴィシェグラード4)+日本 安全保障セミナー」に連動して本学により企画されたもので、「V4+日本 交流年の記念行事の一つとして外務省から認定を受けたものです。V4各国の相互理ら認定を受けたものです。V4各国の相互理ら認定を受けたものです。V4各国の相互理に、本学および日本との連携強化を図ることを目的に、本学および本学と学術交流協定を締結しているV4の学生・若手研究者らがパネリストとして出席して行われました。

活動でもあります。

活動でもあります。

活動でもあります。

活動でもあります。

活動でもあります。

ら100人が参加しました。 の学生・本学への留学生、教員、企業関係者の学生・本学への留学生、教員、企業関係者、本学お

会議は、中欧研究所の柴宜弘副所長の会議は、中欧研究所の柴宜弘副所長の に 大型事長、セルダヘイ・イシュトヴァーン(SZERDAHELYI István)駐日ハンガン(Michal KOTTMAN)駐日スロバキア大使の挨拶に続き、スロバキア共和国外務省のジョゼフ・続き、スロバキア共和国外務省のジョゼフ・続き、スロバキア共和国外務省のジョゼフ・満き、スロバキア共和国外務省のジョゼフ・ が、V4の現在までの歩みに関する基調講長が、V4の現在までの歩みに関する基調講



セッション2で発表する本学の学生



挨拶するコットマン大使



活発な質疑応答

ローバル社会と日本の将来」でも講演をいた



セッション3で発表するプラハ経済大学のパネリスト

学で多くの学生が学生会議を熱心に聞いていび城西国際大学の教室にも同時中継され、両

受けて参加者同士がさらなる意見交換をして また、終了後のレセプションでは、会議を

発展に貢献できるグローバル人材になるため

深めることができ、

将来の各国および世界の

の大変貴重な機会となりました。

国間および日本の地域・文化の違いを認識し

の会議に参加した学生たちは、

今回

た上で、相互理解をより深めるための議論を

●セッション1 Regional Disparities in Slovakia and Japan; and Possible Approaches to Their Mitigation (スロバキアと日本における

尾井町キャンパスの別教室や城西大学およ

会議の様子は会場以外にも東京紀

学生と本学の学生がパネリストとしてそれぞ れの視点から興味深いプレゼンテーションを

セッションでは、テーマに沿ってV4からの 別に以下の四つのセッションが実施され、

その 後、

セミナー

は

昼食を挟んでテーマ

行った後、

各

質疑応答が展開されました。

の留学生を中心に活発なディスカッションや

本学学生およびV4からの本学

地域格差とその低減へのアプ ローチ)

●セッション2

V4 plus Japan Exchange Year: The Methods of Deepening Understanding between Countries (V4+日本交流年:両国の 相互理解を深める方法)

●セッション3

Euro and Its Implications for V4 Countries (通貨ユーロと V4各国の取 り組み)

●セッション4

Tokyo 2020: How Can Sport Bring Nations and Organisations Closer? (東京2020年: スポーツに よって国家と組織をどう密 接に結びつけるか)

議論を深めるとともに、 ウェ 国際交流を大いに深

WALLENBERG)氏の功績をたたえた植樹 戦中に多くのユダヤ人の命を救ったスウェー まざまな大学と積極的に国際交流を深める に向けた国際交流活動強化を掲げて世界のさ れ、特別公開講座として講演を行いました。 下が本学東京紀尾井町キャンパスに来学さ 使ラーシュ・ヴァリエ 式を2012年10月に城西国際大学にて行う デンの実業家ラウル・ワレンバーグ(Raoul 中、スウェーデンに関しても、第2次世界大 2013年12月17日、 本学は、中期目標でグローバル人材の育成 (Lars VARGÖ) 閣

1 デン大使が来学、講演開

催

ス

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス 日時:2013年12月17日

駐日スウェーデン大 専攻エグゼグティブ・プログラム「新しいグ など、これまでもスウェーデン大使館を通じ

り詩人としての活動が高く評価され、東アジ 国際大学大学院国際アドミニストレーショ 12月9日スウェーデン大使館にて行われまし アの生命の尊厳を表現する詩人に授与される て積極的に交流を深めてきました。 チカダ賞」を受賞し、 ヴァリエ大使には、 また、水田宗子理事長は、スウェーデンよ 2012年7月に城西 授賞式が2013年

となるもので、 だいており、 施されました。 今回の講演はそれに続く2回目 本学の特別公開講座として実

演では、スウェーデンの概要をはじめ、産 学生の刺激になり、国際的な視野が広がるこ みならず、世界的な企業も多く、女性の社会 進出という面でも非常に進んでおり、日本が とを期待しています」と挨拶しました。 見習う点の多い国です。本日の講演が本学の ンは、ノーベル賞をはじめとする学問分野の 講演に先立ち、水田理事長は「スウェーデ 「スウェーデンの選択と未来」と題した講

時々ユーモアを交えながら流暢な日本語でお おける特徴や日本との相違点などについて、 業・政治・教育・福祉制度など幅広い分野に 医療・福祉の充実が求められる日本にとって するお話は、超高齢化社会を迎え今後一層の たスウェーデンの社会・高齢者福祉制度に関 話されました。特に、高負担制度に支えられ



講演するヴァリエ大使

両学の学生など総勢130名が集まり、熱心 学長をはじめ、欧州など海外からの留学生や 業の方々に加え、本学からは水田理事長や森 所長らスウェーデンに縁の深い各種団体・企 副会長・元通産事務次官や、ニルス・ホーン に大使のお話に耳を傾けました。 マルク同協会副会長、林康夫JETRO顧 も大変示唆に富むものでした。 本雍憲城西大学学長、柳澤伯夫城西国際大学 **人をはじめ、福川伸次日本スウェーデン協会** 講演には、大使と共に来学されたエヴァ夫 須永昌博(社)スウェーデン社会研究所

ウェーデンの大学との具体的な交流がスター 演内容に関する意見交換や質疑応答を含め、 多くのゲストに混じって本学の学生らが、講 トすることが大いに期待されます。 積極的に大使との交流を深めていました。 また、講演会終了後のレセプションでは、 今回の大使の来学・講演を機会に、今後ス



レセプションで大使と意見交換する留学生たち

水 曲 理 事

長がスウェーデンの

「チカダ賞」を受賞

場所:駐日スウェーデン王国大使館

日時:2013年12月9日

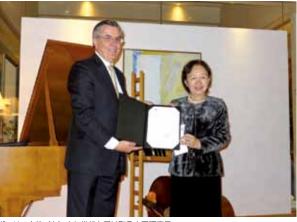
る詩人に授与される「チカダ賞」を受賞し、 ウェーデン大使館より詩人としての活動が高 その授賞式が2013年12月9日スウェーデ く評価され、東アジアの生命の尊厳を表現す 学校法人城西大学の水田宗子理事長は、ス

の詩集「チカダ(´蝉、の意)」に由来しま は、1953年に出版されたマッティンソン 2004年に設立された賞で、この賞の名前 MARTINSON)生誕100周年を記念して す。この詩集は、詩集「アニアーラ」の最初 文学賞受賞者ハリー・マッティンソン(Harry ン大使館にて行われました。 この賞は、スウェーデンの詩人でノーベル

> と、それに続く1953年の水素爆弾の開発 が特に重要な影響を与えました。 の29編「ドリスとミマの詩」を収録してお その詩集制作には、日本への原爆の投下

名な詩人5人が受賞しており、日本人として 高銀(コ・ウン)氏、申庚林(シン・ギョン もので、これまでに宗左近氏、金子兜太氏、 は3人目の受賞となります。 ニム)氏、文貞姬(ムン・ジョンヒ)氏の著 今回の授与は同賞の設立以来6回目となる

FIALKOVÁ)大使や、スウェーデンに関す のカテリーナ・フィアルコヴァー(Kateřina 授賞式には、本学との交流も深いチェ



ヴァリエ大使(左)より賞状を受け取る水田理事長



チカダ賞の賞状とトロフィ

中心とする海外からの留学生や教員らが出席 るゲストの方々をはじめ、本学からも欧州を 皆で受賞を祝いました。

SUNDSTRÖM 氏の手によるもので、 悲しみの深さを押し隠し、感情を対象化し 使より水田理事長にチカダ賞の賞状とトロ せています」と紹介しました。その後、大 さんの詩は、海外生活において幅広い経験を されたものです。 (Lars VARGO) 大使が挨拶し、「水田宗子 「チカダ」の内容にインスパイアされて制 授賞式では、 清新な作品として独自の詩世界を成立さ 近代化と女性表現を研究してきた喪失の スウェーデンの著名な陶芸家 Gunilla ・が手渡されました。このトロフィー 最初にラーシュ・ヴァリエ

軋轢は止むことはないが、人々はそのような ということ」と題したシンポジウムを開催す 可能にするものです」と挨拶しました。そし を瞬間でさぐりあてられる他者との出会いを は同士と心を通わせるだけでなく、魂の在処 た。そして、その主役はやはり詩であり、詩 を結んでいくものだということを実感しまし の交流を通して、国と国のさまざまな衝突 な詩人をお招きし、「生命の尊厳を表現する 京紀尾井町キャンパスに歴代の受賞者と高名 賞を記念して、2014年6月7日に本学東 マッティンソンの詩の一つを朗読しました。 て、受賞の喜びと感謝の意を込めて、ハリー 国家間の争いとは無縁に心を通わせあい、絆 多くの女性詩人たちや大庭みな子さんたちと れまで西欧のジェンダー文化の異邦人である た方々に心から御礼を申し上げます。私はこ 人の賞をいただき、大変光栄です。ヴァリエ 大使をはじめ、この賞の創造に力を尽くされ なお、このたびの水田理事長のチカダ賞受 水田理事長は「このような名誉ある国際詩

『春の終りに』(八坂書房、1976年) 『幕間』(八坂書房、1980年)

『青い藻の海』(思潮社、2013年)

『女性学との出会い』(集英社、2004年)

『帰路』(思潮社、2008年)

『炎える琥珀』 大庭みな子氏と共著 (中央公論社、1996年)

『シルヴィア・プラス: 受難の女性詩人』(牧神社、1979年) 『モダニズムと〈戦後女性詩〉の展開』(思潮社、2012年)

『ことばが紡ぐ羽衣:女たちの旅の物語』(思潮社、1998年) 『居場所考:家族のゆくえ』(フェミックス、1998年)

『サンタバーバラの夏休み』(思潮社、2010年) 『アムステルダムの結婚式』(思潮社、2013年)

水田宗子 詩人としての経歴

受け入れがテーマとして共通している。 行くのか、沈黙の裏にある記憶、そして喪の み』(2010年)『アムステルダムの結婚式』 年間の未発表の詩を集め、『帰路』(2008 継ぐために帰国。詩組織の解散もあり、12 田三喜男が創立した学校法人城西大学を引き 芥川賞作家大庭みな子氏との往復詩である。 開始する。『春の終りに』(1976年)『幕間 その他の詩人との出会いもあり、評論活動も イエール大学に留学。シルヴィア・プラスや らんぐの会)に参加。その後、1961年に くの詩人・作家を輩出する『詩組織』(ぶうめ は、いのちの循環、人がどこからきて何処へ 年)を出版。また、『サンタバーバラの夏休 (2013年) 『青い藻の海』 (2013年 (1980年)を出版。『炎える琥珀』(1996 1985年に24年間の米国生活を終え、父水 大学在学中に、現代詩の会としてのちに多 米国リバーサイド在住の時出会った

関と活発な交流を進めており、本年度ポーラ 界のさまざまな大学と積極的に国際交流を深 で留学生として受け入れています。 めています。特に、中欧の国々の高等教育機 ンドの3大学より13名の学生を1年間の予定 育成に向けた国際交流活動強化を掲げ、世 本学は、中期目標においてグローバル人材

今回の招待は、本年6月の安倍総理のワル 本学に在 日本と

ピエホチンスキ(Janusz PIECHOCIŃSKI ポーランド副首相兼経済相、 安倍総理夫妻をはじめ、来日中のヤヌシュ 当日は、本学のポーランド留学生8名が ポーランド、

> ションでは、留学生それぞれが日本への興味 ランド友好議員連盟および日本・アイルラン 拍手をいただきました。 進の提言などを行い、両国関係者から大きな を持ったきっかけの説明や、 ンテーションを行いました。プレゼンテー で、今後の交流の一層の進展に向けたプレゼ ド友好議員連盟の国会議員等両国関係者の前 「移動文化センター」による相互文化交流推 ルランド両国の駐日大使夫妻、 バスを使った 日本・ ポ



場所:総理大臣公邸 日時:2013年10月25日 安倍総理夫妻主催「ポーランド・アイルランドの夕べ」にて本学

2

情報工科大学(Polish-Japanese Institute of おいて、本学に留学中のワルシャワ大学 る「ポーランド・アイルランドの夕べ」に 催された安倍内閣総理大臣夫妻の主催によ テーションを行いました。 Information Technology) の学生が招かれ (University of Warsaw)、ポーランド日本 今後の両国の交流進展に向けたプレゼン -013年10月25日、総理大臣公邸で開

て、

してほしい」という依頼をいただいたもので なれるのか、留学生の視点から提言・提案を ポーランドがどうすればさらに密接な関係に の魅力について紹介するとともに、 ンド・アイルランドの夕べ』で、ポーランド 学する両大学の学生たちに「10月の『ポーラ 往訪されたことがきっかけとなり、 シャワ大学とポーランド日本情報工科大学を シャワ訪問に同行された総理夫人が、ワル



安倍首相を囲んで



連須会

青柳 講演会 シンポジウム 正規文化庁長官の特別公開講座を開

日時:2013年11月27日

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

を東京紀尾井町キャンパスにて開催しまし 官の青柳正規氏による特別公開講座「ロー た(共催:学校法人城西大学多文化共生セ マ帝国と日本-学校法人城西大学は、2013年11月27 ギリシア・ローマ考古学者で文化庁長 ―異文化としての日本―



ンター、 研究所)。 城西国際大学ジェンダー・女性学

7

(マルコ・ポーロ賞)ほか、多数の著作もあ 舟の家』(地中海学会賞)『古代都市ローマ』 送文化賞も受賞しています。『エウローパの 紫綬褒章を受賞、2011年にはNHK放 日本学士院会員でもあり、2006年には 就任されています。東京大学名誉教授で、 れました。そして今年7月に文化庁長官に 2008年に国立西洋美術館館長に就任さ 学され、ポンペイ遺跡の発掘に携わられまし 院修士課程を修了後ローマ大学へ3年間留 文学部美術史学科を卒業、1969年同大学 学者・文学博士で、1967年に東京大学 た。後に東京大学文学部長、副学長を経て、 青柳氏は、著名なギリシア・ローマ考古

座を共催した多文化共生センターの設立に際 しても大変ご尽力いただきました。 本学の特任教授でもあり、今回の特別公開講 また、青柳氏は、文化庁長官ご就任以前は

社会インフラなど多角的な視座から考え、 ができたのかを、政治・社会・文化・軍隊・ もの長きにわたりその繁栄を謳歌すること 評されてきたローマ帝国が、なぜ300年 ローマ帝国は近代国家のそれと同じように 高度に発達した社会システムをもつ帝国で 特別公開講座では、人類史上最強の国と

> 素を融合した今後の日本文化の進展を提言さ することを明らかにし、ここに「活力」の要 とする「穏やかな文化」「循環文化」に位置 衡・伝統・しきたり・技術の繰り返しを特徴 対化を試み、古くから日本の文化は安定・均 ローマ帝国と日本社会との比較から文化の相 あったという点を指摘されました。また、

催

会場となった地下ホールには、 一般の方々

> ら約150名が詰めかけ、皆熱心に講演を聞 欧や中国などからの留学生や本学教員・学生 や城西大学・城西国際大学に留学している中 いていました。

を深めていました。 と日本の文化論など講座内容に関しての議論 が行われ、留学生らが青柳氏を囲んで、海外 また、講座終了後は別会場でレセプション

レーシア、インドネシア、タイの4大学と 学術交流協定を締結

日時:2013年10月7日~10月9日

に参加し、9日にマレーシア、インドネシ で行われた「第12回アジア学長フォーラム ア、タイの4大学と学術交流協定を締結しま プルリス大学(Universiti Malaysia Perlis) から9日にかけてマレーシアのマレーシア・ (12th Asian University Presidents Forum) 学校法人城西大学は、 2013年10月7日

育機関との提携を進めています。特に、マ めており、中でもASEAN諸国との高等教 界のさまざまな大学と積極的に国際交流を深 て活発な交流を進めています。 の学生を送り、語学教育や薬学の分野におい の育成に向けた国際交流活動強化を掲げ、世 レーシアには2013年の夏に130名以上 本学は、中期目標においてグローバル人材

した。

協定締結に至ったものです。 し、多くの大学との交流を行った中で今回の 河克彦経営企画室長が同フォーラムに参加 そのような中、水田宗子理事長の代理で並

今回のフォーラムは、 アジア地域各国に

場所:マレーシア・プルリス大学、マレーシア 際化への対応強化を反映するように、 相が出席され、それぞれ祝辞を述べられま Mohamad)元首相、ムヒディン・ヤシン 開催されました。また、オープニング・セ レモニーにはマハティール(Mahathir bin おける教育への関心の高まりや各大学の (Tan Sri Muhyiddin Yassin) 副首相兼教育 78大学から150人以上が集まって

結しました。今後は、それぞれとの間でさま ルリス大学、インドネシアのスラバヤ大学 わし、今回マレーシアのマレーシア・プ 学との教育・研究における共同プログラ それぞれの国々の高等教育の現状、各大 学(Siam University)およびタクシン大学 ムの構築の可能性などに関して意見を交 ざまな分野での協力を具体的に進めていく予 (Universitas Surabaya)、タイのサイアム大 (Thaksin University) と学術交流協定を締 フォーラム期間中、本学は多くの大学と

23 か

国境に近いプルリス州にある国立大学です。 マレーシアのマレーシア・プルリス大学 2001年設立のマレーシア最北、タイ



定を締結しました。 を結んでいましたが、 いて、他の3校を含めた5校間の包括的協定 既に昨年のアジア・サマー・プログラムにお 今回、追加的に相互協

の活発な交流が期待されます。 で、本学とは薬学・経済学・経営学の分野で 年に設立された東ジャワ州最大の私立大学 インドネシアのスラバヤ大学は、1966

のホテル観光業界と強い結び付きを持ってい ターンシップ・プログラムを持ち、タイ国内 大学で、特にホテル観光学科は多くのイン れています。タイ国内第5位の規模の私立 15か国から400名以上の留学生を受け入 International College を併設して、現在では タイのサイアム大学は、1965年に 1995年にはSiam University

国立高等教育機関として位置付けられていま す。国王が命名した大学名「タクシン」は南 の意で、タイ南部の文化・教育の発展を担う して設立され、現在は総合大学となっていま

タクシン大学は、1968年に教育大学と

ミャンマー元日本留学生協会(MAJA)と 連携協力協定を締結

日時:2013年10月18日

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

にミャンマーの元日本留学生協会 (Myanmar 材の育成に向けた国際交流活動強化を掲げ と連携協力協定を締結しました。 Association of Japan Alumni : MAJA) 本学は、中期目標においてグローバル人 学校法人城西大学は、2013年10月18日

ていますが、ミャンマーと連携協力協定を

日本語教育やビジネスパーソン育成のため 2001年に結成された同窓会組織であり、 留学生の地位向上を図ることなどを目的に 生がお互いの連携を強めて人脈を形成し、 かつて日本で勉強したミャンマーの元留学 結ぶのは初めてのことです。 の技術研修、 経営研修の事業を積極的に M A J A は

> を訪問し、彼らの協力の下にミャンマーに モノづくり大学を設立する準備にも入って Promotion Association (Thailand-Japan)) と泰日経済技術振興協会(Technology 大学(Thai-Nichi Institute of Technology) AJA幹部メンバーが隣国タイの泰日工業 行っています。そして、この9月には、 Μ

交換留学等を側面から支援していきたい」と ました。このたびの連携協力協定締結を機 とって極めて重要な日です。今後お互いに協 を締結しました。会見の中で水田理事長は、 の執行部メンバーらと会見し、連携協力協定 パスに来学され、3号棟国際会議場にて水田 話されました。 ンマーの大学・研究機関との交流や、学生の 城西大学から多くのことを学べると確信をし ンパスを見学して、ミャンマーの若い世代が ミン・ウェイ会長も「本日、素晴らしいキャ 力を入れていきたい」と話しました。また、 力しながら両国でのグローバル人材の育成に 宗子理事長をはじめとする学校法人城西大学 に、今後の両機関の交流を進め、貴学のミャ (Myint Wai) 氏が本学東京紀尾井町キャン 「本日は、本学とミャンマーの国際交流に 当日は、 MAJA会長のミン・ウェイ

び民主主義の道を歩み始めています。私は 指していました。そして今ミャンマーは再 ターに至るまで、 ウィン(Ne Win)将軍による軍事クーデ 目で講演され、「ミャンマーは1948年 て「ミャンマーとアジアの未来」という題 回ASEANフォーラムJOSAIにおい 日して人生の師を得ました。東京工業大学 1959年に日本政府国費留学生として来 にイギリスから独立し、1962年のネ・ 永井道雄先生、 締結後、ミン・ウェイ会長は本学の第4 松田武彦先生、そして旧 民主主義国家の建設を目

> を手本に努力しています。国づくりの基本は り大学を作ろうと頑張っています」と話され 学生はほとんど帰国していませんが、 まで努力してきました。欧米に留学した留 ました。 に留学した学生は7割以上が帰国し、日本 想と考え方を国のために役立てたいと今日 積五一先生です。帰国後は日本で学んだ思 海外技術者研修協会(AOTS)理事長の 人づくりです。私たちは今、日本式ものづく 日本

を行いました。 ミャンマー日本大使田島高志氏、経済産業省 氏、法政大学学事顧問清成忠男氏がスピーチ ン・ゾウ・ウー(Min Zaw Oo)経済参事官 官房審議官森清氏、駐日ミャンマー大使館ミ プションパーティーが行われ、そこで元駐 講演後はミン・ウェイ会長を囲んでのレセ



連携協力協定締結

大連市外事弁公室主任·本学客員教授 于涛先生が来学、講演を実施 0)

日時:2013年10

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

先生が本学東京紀尾井町キャンパスに来学さ 2013年10月30日、 講演されました。 本学客員教授でもある于涛(Yu Tao) 大連市外事弁公室主

当講師も務められ、参加者からも「急激に発 に多大な貢献をされてこられました。また、 国際大学との交流、大連と日本の文化交流 ご紹介いただくとともに、JEWELでは扣 きました。「中国大連インターンシップ研修 運営にあたって多大なご協力と支援をいただ 材育成プログラム(JEWEL)」の開催 成プログラム「JOSAIグローバル女性人 修団」、城西大連・東北学友会、若手人材育 して行われた「中国大連インターンシップ研 2012年には、両大学からメンバーが参加 に携わってこられ、大連と城西大学・城西 于先生は、長年にわたり大連市の経済、 福祉、医療、教育など幅広い分野の仕事 研修先や病院・老人ホーム訪問を

> 状況とご自身の豊富な体験に基づいたキャリ 急に充実させる必要があること、そして最後 とに説明されました。次に、大連市の急速な 業の概況と今後について、最新のデータをも 展を続ける中国および大連を深く理解する良 ました。講演後の質疑応答では、 る本学教員らを前に流暢な日本語で講演され た大勢の学生たちや水田理事長をはじめとす 高齢化と介護の現状を踏まえ、福祉政策を早 というテーマのもと、まず、 ア向上のための働き方などについて、集まっ に、大連市における女性の社会的地位や活動 た講演会では、「大連市の現状と今後の発展 い機会になった」と大変好評でした。 東京紀尾井町キャンパス3号棟にて行われ 中国の女性

大勢の学生たちを前に講演

講演する于先生

大連市の経済産 学の交流について話し合いが持たれたことが

今後や一人っ子政策緩和の可能性など、多岐 の働く環境や中国の就職事情、大連市におけ にわたる質問が出ましたが、それら一つひと (ビジネス活動の外部委託)業務の 学生たちが于先生を囲んで交流を深めました。 つに丁寧に答えてくださいました。

る B P O

ションが行われ、中国からの留学生を含む本学 また、講演会終了後、特別講義記念レセプ

寧夏理工学院と学術交流協定を締! 結

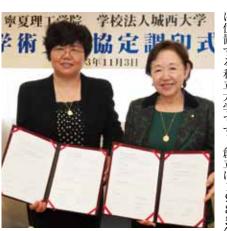
日時:2013年11月3日

場所:城西国際大学千葉東金キャンパス

国・瀋陽を訪問した折に、本学との交流が深 とする本学訪問団一行が2013年9月に中 術交流協定を締結しました。 い東北大学の紹介により趙校長と面会して両 (NingXia Institute of Technology) 2013年11月3日、 寧夏理工学院とは、水田宗子理事長を団長 (Zhao Huie) 校長が来学され、 中国の寧夏理工学院 本学と学 の趙恵

結が実現したものです。 に位置する私立大学です。 寧夏理工学院は、中国西北部の寧夏石嘴山市 創立は1985年

きっかけとなり、今回の来学および協定の締



調印式を終えた水田理事長と趙校長(左)



両学関係者による記念撮影(前列右端:東北大学外国語学院の王克君書記、前列左端:王秋菊副院長)

29の専攻を有し、学生数は約8千人です。 文理学部、電気情報工程学部、 機械工程学部、建築環境学部の五つの学 経済管理学

部

伯夫学長、倉林眞砂斗副学長ら執行部メン 西大学からは水田理事長や城西国際大学柳澤 際大学千葉東金キャンパスにて、学校法人城 ーが出席して行われました。 学術交流協定の調印式は、訪問中の城西国

締結に先立ち、水田理事長は「本学と寧夏の締結が行われました。

今回、趙校長は東北大学外国語学院の王 今回、趙校長は東北大学外国語学院の王 を変弱、など、本学との交流を深めました。 など、本学との交流を深めました。 など、本学との交流を深めました。 など、本学との交流を深めました。 など、本学との交流を深めました。 など、本学との交流を深めました。

イスラエルテーブルウェア展」を開催

湯が日時

場所:城西大学坂戸キャンパス日時:2014年2月7日~4月19日



ペレグ・パブロ・レヴィ(Peleg Pablo Lewi) 公使が城西大学坂戸キャンパスに来学され、 会に注目を集めているイスラエルのデザイン のうち、ホロンにあるデザイン専門の美術館 のうち、ホロンにあるデザイン専門の美術館 の方ち、ホロンにあるデザイン専門の美術館 の作品を紹介し、ディナーテーブルに欠かせ がイナー、スタジオおよびデザインレーベル の作品を紹介し、ディナーテーブルに欠かせ ない食器類を展示されました。

思っています。この展覧会では約20作品を展示ないます。この展覧会を開催することができ大変嬉しくスラエル大使館のご好意を得て、このたびこの際大学での植樹式がご縁で親しくなりましたイスラエル大使館のご好意を得て、このたびこの際大学での植樹式がご縁で親しくなりましたイスラエル大使館のご好意を得て、このたびこのは、「2012年10月26日に行われたラウル・は、「2012年10月26日に行われたラウル・は、「201月20日に行われたラウル・

こうでは、この美術展を通してイスラエルしていますが、この美術展を通してイスラエルから日本への留学生が増の新しい魅力を多くの方に知っていければ幸いの新しいますが、この美術展を通してイスラエル

まいてレヴィ公使が挨拶され、「城西大学のご紹介を得てこのテーブルウェア展を開催 切なのは台所、そして重要な場所は家族が囲 切なのは台所、そして重要な場所は家族が囲 む食卓です。ディナーテーブルでの食事は重 を食卓です。ディナーテーブルでの食事は重 を食卓です。ディナーテーブルウェア展を開催 を食卓です。ディナーテーブルウェア展を開催 のご紹介を得てこのテーブルウェア展を開催

当日は、ホロコースト記念館の吉田明夫副当日は、ホロコースト記念館の吉田明夫副部長をはじめ、日本イスラエル親善協会の秋ンガーデンの皆さま、高校の先生方、企業の方、アパートオーナー会の皆さま等多くの方が来場され、独特でユニークなデザインの作が来場され、独特でユニークなデザインの作品群を楽しまれました。

近代絵画の名品9点を展示しました。宮川長春《江戸風俗図巻》をはじめ、近世・リーでは、昨年水田家より本学へ寄贈されたリーでは、今回の展示にあわせて館内ギャラ



ープカットの様子



展示会を鑑賞するレヴィ公使と水田理事長ら

の形見のバラ」を鑑賞しました。
の形見のバラ」を鑑賞しました。
の形見のバラ」を鑑賞しました「アンネフランク学に特別に6鉢寄贈された「アンネフランク学に特別に6鉢寄贈された「アンネフランクット
の形見のバラ」を鑑賞しました。

その後行われた懇親会では、日本イスラエル親善協会の秋山会長が、「イスラエルにはル親善協会の秋山会長が、「イスラエルにはル親善協会の秋山会長が、「イスラエルにはお、懇親会では本学薬学部医療栄養学科なお、懇親会では本学薬学部医療栄養学科なお、懇親会では本学薬学部医療栄養学科なお、懇親会では本学薬学部医療栄養学科なお、懇親会では本学薬学部と療栄養学科の学生が調理を担当した鯛の酒蒸し、とうもの学生が調理を担当した鯛の酒蒸し、日本イスラエ

なお、 懇親会では本学薬学部医療栄養学科の学生が調理を担当した鯛の酒蒸し、とうもろこしのスープ、酢鶏、杏仁豆腐や、ハンガろこしのスープ、酢鶏、杏仁豆腐や、ハンガの学生が調理を担当した鯛の酒蒸し、とうもを彩りました。

ことが大いに期待されます。ますます本学とイスラエルとの交流が深まる今回のテーブルウェア展の開催を通して、

11

短期大学創立30周年、薬学部開設

記念式典・祝賀会を挙行

40周年

Ó

場所:城西大学坂戸キャンパス 日時:2013年10月5日



挨拶する水田理事長

持続的に発展させてこられたのは、

教職員の

び城西大学薬学部開設40周年の記念式典・祝 パスにおいて、城西短期大学創立30周年およ 賀会を行いました。 2013年10月5日、城西大学坂戸キャン

ギ・ヴァシレフ(Georgi Vassilev)閣下、 式典にはブルガリア共和国駐日大使ゲオル 在学生、教職員らが集いました。 して薬学部および短期大学卒業生の皆さま、 じめとする多くのご来賓や地域の皆さま、そ 議院議員山口泰明氏、坂戸市長石川清氏をは 当日はあいにくの雨模様となりましたが、 衆

りは決して平坦なものではありませんでした 間近に迫った大学創立50周年の先駆けとな 30周年は創立からの城西大学の歩み、その教 成を目指して短期大学部が設立されました。 学部が1973年に設立され、その10年後に 学部で出発した後に、第3の学部としての薬 育成果の大きな一区切りを作るものであり、 水田清子理事長(当時)による女性人材の育 年の年月を経ました。経済学部、理学部の2 が、現在城西大学が順調に本来の教育事業を る重要な節目でもあります。今日に至る道の 水田宗子理事長が「薬学部40周年、短期大学 総合大学として順調に発展を続けてきました。 そして現在に至るまで、地域に密着した国際 午前中に清光ホールで行われた式典では 城西大学は1965年の創立以来、 既 に 48

記记正

城西班腊大学耐立30周年

域西大学萬學部創設40周年

記念式典

ヴァシレフ大使に感謝状を授与

学の理想と精神を教育研究・人材育成におい ご支援と励まし、卒業生、父母後援会、地域 努力はもとより、 と思います」と挨拶しました。 ユニバーシティとなるべくつとめていきたい 揺るぎないご支援の賜物です。これからも建 の自治体、多くの企業と高等学校の皆さまの て実現していき、国際社会でのリーディング ひとえに地域の皆さま方の

期大学創立30周年と薬学部創設40周年を記念 関係者による「ナディア」の苗木の植樹式も 長、森本学長らがテープカットを行った後、 ブルガリアのヴァシレフ大使、 モニーでは、ガーデン入口にて水田理事長や 呼ばれるバラの苗木をいただきました。セレ で大変有名なブルガリアから「ナディア」と して設立された「水田清子記念ローズガーデ 子名誉理事長の功績を顕彰するとともに、短 行われました た。本ローズガーデン開設に際し、バラの花 ン」のオープニングセレモニーも行われまし 式典終了後、城西短期大学創設者故水田清 石川坂戸市

> されました。 午後は、総合体育館にて祝賀会が盛大に

催

式典関係者による記念撮影

功労賞が授与されました。 学と薬学部の発展にさまざまな形で寄与され た方たちに対して感謝状や特別感謝状、 鈴木文雄同窓会長の挨拶に続いて、短期大 特別

り、その冒頭で城西国際大学 けた全員で盛大に祝福しました。 キ入刀のセレモニーが行われ、会場に詰めか 学と薬学部の卒業生代表の二人によってケー バースデートゥーユー」の歌を歌い、短期大 奏楽部の演奏のもと、会場の皆で「ハッピー ドルをケーキに立てていきました。本学の吹 テージに上がり、合計40本のお祝いのキャン や卒業生、理事長や森本学長らが一人ずつス ケーキが渡され、短期大学、薬学部の在学生 スコット 「J(ジェイ)』と 「I (アイ)』 ″コマちゃん〟に高さ2メートル以上の特大 そして、歓談を挟んでアトラクションに移 城西大学のマスコット ″ジョーくん″ と (JIU) のマ

その後、 30周年、 40周年を祝うアトラク

さまざまな催しがありました。 ションとして、 職員の合唱団、ハンガリー留学生の合唱のほ フラダンス、チアリーダー部の演技等 両大学の吹奏楽部の演奏や教

学歌を斉唱して祝賀会は終了しました。 最後に、会場の皆で城西大学、短期大学の



群を鑑賞されていました。 戸風俗図巻》などをはじめとする貴重な作品 開しました。多くの方が訪れ、宮川長春《江 に水田家より寄贈された新収蔵品を特別に公 なお、 薬学部創設40周年を記念し、2013年 水田美術館では、短期大学創立30周



祝賀会の様子



名誉博士記を受け取るシュクリ学長(右)

シュクリ学長に名誉博士記を授与

マレーシアのマネジメント&サイエンス大学

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス 日時:2013年11月26日

名誉学位

あるマレーシアのマネジメント&サイエンス 大学 (Management and Science University: 京紀尾井町キャンパスにて、本学の姉妹校で 城西国際大学は、2013年11月26日、東

Yajid)学長に名誉博士記を授与しました。 MSU)のダト・ウィラ・ドクター・モ (Professor Dato' Wira Dr. Mohd Shukri Ab. メッド・シュクリ・アブ・ヤジャド

> 揮されています。 の高等教育の発展に強いリーダーシップを発 の推進に多大な功績を残すなど、マレーシア され、文化学術交流の促進ならびに国際教育 機関の学長として大学の拡充発展に力を尽く Lカレッジグループを創立して以来、 MSUの前身であるKUTPMおよびPTP シュクリ学長は、2001年に設立された 両教育

を中心にした学術交流を積極的に進めてきま 交換プログラム、セメスター交換プログラム 流協定を締結して以降、薬学部を中心に短期 本学とMSUは、2010年1月に学術交

シュクリ学長に名誉博士記とメダル、トロ

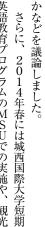
子理事長と柳澤伯夫城西国際大学学長から

地下ホールで行われた授与式では、水田宗

フィーが授与されました。

齢構成、医療、薬剤師の数と役割などが異な を日本で初めて共同開催し、文化や宗教、年 Pacific Pharmacy Education Workshop) ア太平洋薬学教育ワークショップ(4th Asia する各国の薬学教育をどのようにハーモナ 育や学習評価法、臨床実習、卒業研究に関 る中で薬剤師のスピリットがどこにあるべき イズしていくかをテーマとして「第4回アジ 2013年11月25日と26日に、大学院教

授与式後の記念撮影



博士記授与になったものです。 教育における数多くの功績や本学との交流に おける多大な貢献が評価されて、 れており、今後一層の充実が期待されます。 学部との2+2教育プログラム開始が予定さ 英語教育プログラムのMSUでの実施や、 これら、シュクリ学長のマレーシアの高等 今回の名誉 観光

バルに、そしてボーダーレスに変化していく の在り方、 中での、今後の高等教育そのものや学術交流 ノロジー・教育など、あらゆるものがグロー Higher Education」をテーマに、経済・テク た。講演は「Globalisation & Its Impact on してシュクリ学長の記念講演が行われまし なお、授与式に続いて、今回の授与を記念 方向性等に関する貴重なお話があ

りました。

韓国 名誉学位 ・建陽大学を訪問し、名誉博士号の 受称、協定書の調印を実施

場所:建陽大学校、大韓民国 日時:2014年2月20日

University)金熺洙(Hi-Soo Kim)総長よ 大学である大田の建陽大学校(Konyang 化の変容と大学教育」をテーマに講演を行 して、「少子高齢社会における性差社会/文 です。水田理事長は、名誉博士号授与記念と 功績を残したことが評価されて行われたもの 発揮した業績、建陽大学校との交流に大きな ける業績、大学運営に際し卓越した指導力を 理事長の素晴らしい学問上の業績、教育にお 営学博士号を授与されました。これは、水田 水田宗子理事長が、 2014年2月20日、学校法人城西大学 大学院学位授与式の場において、名誉経 韓国有数の医療系私立

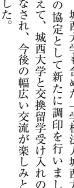
学とのみ締結されていました学術交流協定を 今回の訪問において、これまで城西国際大 名誉博 ■장소: 건양대학교 특

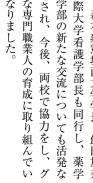
> 調印もなされ、今後の幅広い交流が楽しみと た。加えて、城西大学と交換留学受け入れの 学」との協定として新たに調印を行いまし 拡大し、城西大学も含めた「学校法人城西大 なりました。

を得ています。 道圏1位に選ばれるなど附属病院も高い評価 2007年国が実施する医療機関評価で南北 て大きな注目を集めており、2004年、 建陽大学校は、医学薬学看護教育におい

くことになりました。 ローバルな専門職業人の育成に取り組んでい 恵城西国際大学看護学部長も同行し、薬学 議論がなされ、今後、両校で協力をし、グ 今回は、森本雍憲城西大学学長、飯田加奈 看護学部の新たな交流についても活発な

部、







日本学プログラムシンポジウムにて講

水 田 理 事

長が神戸大学オックスフォード大学

演

日時:2013年10月15日

場所:神戸大学

会が開催されました。 憶·沈黙・ジェンダー:新たな日本研究の構 クスフォード大学(Oxford University) 本学プログラムシンポジウムにおいて、 築に向けて」と題した水田宗子理事長の講演 2013年10月15日、神戸大学と英国オッ 記 日

どのように育てていくのかが大きなテーマと

ていくのか、海外の方も含めた若い研究者を

術交流・共同研究のあり方を中心に海外経験 オックスフォード大学との教育提携によって 科樋口大祐准教授の企画により、神戸大学と まえ、これからの日本研究をどのように進め 者の眼から見た日本の知的風土への批評を踏 来日した2期生を歓迎し、両大学の今後の学 このシンポジウムは、神戸大学人文学研究



指定討論者と

2013학년도

■일시: 2014년 2월 20일 14:00

学校法人

名誉博士号授与

KY

講演する水田理事長

城西大学

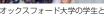
대학원 학위수여식

理事長

日本国

水田宗子





切り開いていくであろうと述べました。 の原点への視点を持つことが、新しい視野を 紀の日本研究は「他者との遭遇」という表現 研究者の自由な発想を育てる教育など、 学会、そして研究者自身の異文化体験、 21 世 若い

分野に引き寄せて「記憶・沈黙・ジェンダー」 文学の奥村沙矢香准教授が、それぞれの専門 講演後は、中国文学の濱田麻矢准教授と英

普遍的なものであることが確認されました。 ン・ダウランドの音楽の解説が行われました。 古楽の美しい声とリュートの調べ、そしてジョ つのだたかし(リュート)によるルネサンス 題したコンサートが開催され、オックスフォー を語り、このテーマが、国家を超えて文学に ド大学で学んだ Emma Kirkby(ソプラノ) 引き続き、《ジョン・ダウランドの世界》と

山形国際ドキュメンタリー映画祭東京イベント 「ドキュメンタリー制作者のためのフェアユース」を開催

日時:2013年10月18日

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

研究センターと山形国際ドキュメンタリー映 を目的に学校法人城西大学日本/アジア映像 りしないために「フェアユース」を知ること 棟にて開催しました。 シンポジウムを東京紀尾井町キャンパス3号 画祭事務局が協力し、2013年10月18日に 不要に著作権侵害をおそれたり見過ごした



制作者たちが法律家と編み上げ広めたフェア で示しながら、アメリカでドキュメンタリー 「フープ・ドリームズ」 「スティービー」)が る映画は作れるのかなど具体的な事例を映像 モーションビデオを使って政府政策を批判す た音楽は権利処理すべきか、原発推進のプロ 講演し、インタビューした喫茶店で流れてい (Gordon Quinn) 氏(映画プロデューサー ユース・ガイドラインの現状を説明しました。 シンポジウムではゴードン・クイン

りであるため、今後本学のセンターも中心と 有意義な時間となりました。まだ日本では り、実践的かつ幅広い論議がなされ、極めて 意見を述べました。会場には、多くのドキュ 氏(映画監督「映画日本国憲法」)が加わり、 ジャン・ユンカーマン (John Junkerman) なって推進していくことが望まれます。 フェアユースの考え方や運用は始まったばか メンタリー映画監督や報道関係者が来てお 会場と質疑応答をしつつ、それぞれの立場と 「エドワード・サイード:Out of Place」)と その後、山上徹二郎氏(映画プロデューサー

第 4 П 日 中経済経営フォーラムJOSAIを開催

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス 日時:2013年11月12日

今回は、学内からの学生・教員に加え、学外か ら多くの参加者が集うイベントとなりました。 た。同協会の経済訪中団に先立って実施された と将来展望」というテーマで講演いただきまし パスにて開催し、一般財団法人日中経済協会岡 フォーラムJOSAIを東京紀尾井町キャン は、2013年11月12日に第4回日中経済経営 本巌理事長を講師に迎え「日中経済関係の現状 学校法人城西大学イノベーションセンター

日中戦略的互恵関係の在り方」の5項目につい 関係の深化の状況」、⑤「今後の日本経済再生と 改革の動向」、④「最近の日中の相互依存経済 服策としての経済発展方式の転換、経済構造 の成長制約要因の顕著化の背景」、③「その克 国経済のプレゼンスの大きさ」、②「中国経済 ている状況ではあるが、日本にとってはアベノ て、さまざまなデータを示しながら説明されま した。「昨年以来、政治面で日中関係が悪化し 講演で、岡本氏は①「世界経済に占める中

> さらに築ける可能性について述べられました。 福祉や環境整備等の分野においても協力関係が 係の再構築は十分可能だ」と岡本氏は話され、 流の安定的拡大こそが日中戦略的互恵関係の ミクスの経済再生のためにも中国との経済交 ビジネスの関係のみなならず、文化交流、介護 コアであり、ビジネス交流促進による両国の関

交換が行われました。 流の重要性等についても活発な議論や意見の 講演会終了後の質疑応答では、若者間の交



講演する岡本氏

天津外国語大学修剛学長の講演会を開

日時:2014年2月14日

場所:学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス

学名誉博士でもある修剛(Xiu Gang)学長の Executive Program 講演会を開催しました。 人者として知られ、中国全土の日本語教育 修学長は、中国における日本語教育の第一

Studies University)学長であり、城西国際大 ルにて、天津外国語大学(Tianjin Foreign 東京紀尾井町キャンパス1号棟地下ホー

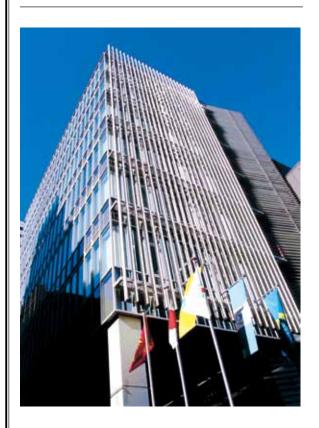
城西国際大学は、2014年2月14日に

●周辺図



アクセス インフォメーション

- ●東京メトロ有楽町線 麹町駅 1番出口より徒歩3分
- ●東京メトロ半蔵門線・南北線 永田町駅9a番出口より徒歩5分
- ●東京メトロ丸ノ内線・銀座線 赤坂見附駅D出口より徒歩8分
- ●JR中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分





講演会に先立ち挨拶する水田理事長

講演される修学長

流への貢献を称えて、 されました。そして、 企業等との連携のもと天津外国語大学で開催 を日本の文部科学省、 年多くの天津外国語大学の学生が本学に留学 より修学長に名誉博士記が授与されました。 ・年10月に学術交流協定を締結して以降、 本学と天津外国語大学とは、200 同年9月城西国際大学 これまでのご活躍、交 国際交流基金、 日 中

など多くの要職も兼務されております。 語教育研究会名誉会長、中国翻訳協会副会長 事業を成し遂げられました。また、中国日本 学院を総合大学へと格上げするという困難な 学院の拡充発展に尽力し、2010年には同 1999年に天津外国語学院学長に就任、

2011年には、

界の

中心的柱となってご活躍されています。

同

文化コミュニケーションの重要性と国民目線 というタイトルでご講演をされ、 異文化コミュニケーションを目指して-まざまな違いを認め合うことをベースに、異 の関係が難しい現状において、日中両国のさ に続いて修学長が「国民目線の中日関係 するなど、国際交流が進んでいます。 講演会では、水田宗子理事長の冒頭の挨拶 日本と中

学生らが約150名参加し、皆熱心に耳を傾 お話いただきました。 での良好な日中関係構築の必要性等について には城西大学・城西国際大学両大学の教員 当日はあいにくの雪模様でしたが、講演会

どに関しての議論を深めていました。 多くの学生・教員が修学長を囲んで、中国と けていました。 本との今後の友好関係づくりや文化交流な 講演会終了後は、レセプションが行わ

学校法人 城西大学

城西大学/城西短期大学 浏 城西国際大学

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL.03(6238)1300

学校法人 城西大学 http://www.josai.jp/ 城西大学 http://www.josai.ac.jp/ 城西国際大学 http://www.jiu.ac.jp/

学校法人 城西大学 国際学術文化振興センター

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL 03(6238)1300 FAX 03(6238)1299